

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200193		
法人名	㈱ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート花島(1階)		
所在地	千葉県千葉市花見川区花島町481-8		
自己評価作成日	2024.1.15	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube
訪問調査日	令和6年2月13日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スローガンである輪(和)を大切にお客様、職員とともに楽しく笑顔で過ごせる環境を目指しています。毎月のレクリエーションを企画してお客様と一緒に作業を行い残存能力の活用、自立支援はもちろんのこと、お客様にも役割を持っていただき やりがいを感じて頂いています。お客様意向を尊重し日々の生活を送っていただいております。毎日の体操やカラオケなどを活用し健康管理を行っています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム隣の公園を活用して天候や気候の良い日には散歩を日課とするほか、ホームに立ち寄る移動パン屋での買い物、地域のお祭りにも利用者と一緒に参加するなど、ホーム外での取り組みを充実させて利用者の活動の幅を広げて楽しみを拡充させています。特に今年度は地域との連携強化をテーマにして、区内の地域ケア会議に参加をして、地域の課題等を共有してホームとしてできる事などを前向きに検討しています。今後は地域包括支援センター主催の認知症カフェにも協力していく予定としているほか、近隣の小学校とも連携を強化して、地域連携をさらに強化していきたいと考えています。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の社是、サービス方針、サービス宣言を掲示し、会議前に唱和しています。スローガン「みんなで輪になり 楽しく安心して過ごせるような環境を目指しています」	「みんなで輪になり 楽しく安心して過ごせるような環境を目指しています」をホームのスローガンに掲げて全体で共有しています。毎週定期的にイベント食を提供したり、ホーム内の行事の活性化等を通してスローガンにある「楽しみ」を体現しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	あんしんケアセンター様・社協様との交流や地域のイベントにも積極的に参加することができた。日々の活動では近隣の花島公園まで散歩に行き、散歩中の地域の方との会話等交流が盛んにできている。	区民祭りなどの地域のイベントに積極的に参加をして交流を図るほか、地域ケア会議への参加により地域の課題なども共有しています。地域との連携は特に力を入れており、今後は地域包括支援センター主催の認知症カフェへの協力も予定しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で近況報告をしている。また今年度から地域ケア会議等にも参加させていただいており、そこでも地域の情報収集や施設の報告の場も設けて頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3か月に1度、入居者様・ご家族様・関係医療機関・あんしんケアセンター様・施設職員とで開催し、ホームで予定している行事や研修、近況のご報告や意見交換を行っている。	運営推進会議には利用者家族、地域包括支援センター、協力医療機関、薬局、訪問歯科などの参加を受けて3ヶ月毎実施しています。ホームの活動や身体拘束、虐待防止への取り組みの報告や参加者からも一言ずつ頂き助言を生かせるように努めています。	今後に向けては地域の代表者の方も会議に参加できるように調整を図り、より充実した会議になることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	提出書類に関しては、速やかに提出し運営上疑問があった時は電話もしくは直接お伺いし相談と指導をいただいています。	定期的に参加している地域ケア会議に区の担当課の方の参加もあり意見などを頂いたり運営上の相談なども行っています。また市の担当課の運営指導も入り、口頭での指導を通して支援の質の向上につなげています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については外部研修参加や拠点研修を行い学んでおります。安全面の考慮から玄関・階段の施錠は行っています。(エレベーター使用で上下階の行き来は可能)	身体拘束をしないケアの実践に向けて3ヶ月毎運営推進会議の中で「身体拘束適正化委員会」を開いて、身体拘束適正化に向けた指針の確認、現状についてや身体拘束適正化に向けた取り組みを報告しています。	身体拘束適正化委員会において、例えば離床センサーを使用しているケースでは適切な使用ができていないかなどについても確認して関係者へ報告できるとよいと思います。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修にて身体拘束・虐待による弊害を学び防止に努めています。定期面談にて毎回、職員に問いかけて現状把握をしております。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修を行い職員の理解を含め資料を閲覧できるようファイリングして、いつでも各自が確認できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前の説明をしっかりと行いお客様、ご家族の不安や疑問にお答えし、ご納得いただいた上で署名・捺印をいただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪、担当者会議、運営推進会議、電話連絡等の際にご意見・ご要望を伺い、その都度申し送りをし職員に伝達し共有を図っています。	家族からの意向や要望については面会時やケアプランの説明の際に確認し、要望等が出た場合には迅速に対応しています。利用者からの要望等は日常会話から収集し、日々の生活の中で反映できるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送り、定期面談以外にも自由記述のできるノートの活用と拠点会議の他、各フロアごとの会議も行い提案を聞く機会を設け反映させています。	職員からの意見や要望については、管理者との定期面談のほか、職員個々の状況に合わせて面談をして意見や要望のほか不安に感じていることなどを確認しています。また拠点会議も定例化して会議を通して意見などを確認しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員面談を通して職員の目指すべき目標や働き方等ヒヤリングし、離職防止等の就業環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護技術やモチベーションアップの為、職員には会社援助制度を利用した実務者研修取得の推進と介護福祉士試験対策を営業所で教育担当者を設け、実施。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他職種の方や他の事業所の方が参加される研修には、出来る限り参加させていただき定期的に訪問等交流を図っております。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用開始前に面談を行い、ご本人様、ご家族様が安心して暮らせるよう直接ご意見を伺っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込み時や入居手続き時、ご家族様が困っている事や不安に思うことが無いかわり必ずお聞きする。また入居までに密に連絡を取り関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け、当施設でのサービスを希望される段階ではない場合は あんしんケアセンターに相談を引継ぎます。ご相談については随時承っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護が必要なタイミングを見極め 必要に応じて介助・声かけをおこなっています。掃除や食事の準備をしたり日常生活を共に行うことで信頼関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の意見を聞き、ご本人の状況に合わせた介護の実践を心がけ介護現場に反映させております、		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、外泊、ご面会は制限なく、積極的にご家族様に呼び掛けている。遠方方には電話でのコミュニケーション、お手紙などを通じ関係性を保てるよう努力しております。	馴染みの人や場所との関係継続の支援に向けては、これまで買い物で利用していた商店街のなじみの店への買い物が継続できるようにサポートしたり、友人や詩吟の教え子の方の来所などもあり、これまでの関係性を継続していることがうかがえます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員に日々の様子を報告してもらい把握しています。お客様同士が交流できる場所や共同作業を通じより良い関係が気付けるよう働きかけています。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了した後も気軽に連絡いただけるような声かけをしています。その後の様子などを伺い、必要に応じて相談、支援ができるよう関わりを持たせて頂いています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限りご本人の意向を尊重できるようケアプランを作成し日々のケアに活用しています。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映できるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族関係者から今までの生活歴を伺い従来の生活から可能なかぎりずれないように努めます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の把握、日頃の変化に注意をはらい職員や家族を踏まえた情報交換ができるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃より、ご本人やご家族様と話す機会を設け定期的に見直しを行っています。往診時に主治医、看護師、薬剤師に相談やアドバイスをいただきケアプランに反映させています。	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎ケアプランを更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態を個人日誌、業務日誌に記録をしています。申し送り、会議に報告をして情報共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様がお気軽に面会に来られるよう雰囲気作りを行っている。またブログにも力を入れており日々のお客様のご様子分かるように発信している。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベント(音楽コンサートやお祭り等)積極的に参加させていただき、ご家族様への協力もいただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に協力医療機関のご説明をさせていただき月4回の往診や訪問歯科を受けられるようにしています。また、ご家族と相談し必要に応じた医療に関しては通院をしています。	提携先のクリニックの定期往診を通して主治医と連携を図っています。往診以外にも24時間連絡が取れる体制を築き緊急時にも迅速な対応を可能としています。歯科についても訪問歯科を受けられる体制を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関とこまめに連絡をとり、日常の健康管理、医療活用の支援をおこなっています。またお客様の状況により訪問看護も行います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医師、看護師に情報提供を行っています。また、情報収集も行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に施設としてできること、できないことをご説明し重度化が見られた場合は、ご本人様やご家族様と話し合いをし医療関係者を交えて今後のケアに向けて方針を検討しています。	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に重度化及び看取りの指針を交わし同意を得るようにしています。重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修で急変や事故発生時の対応の仕方などを行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防立ち会いの防災訓練を年2回実施と研修にて災害時マニュアルの活用をし意識を高め方法を再確認しております。	災害に備えて10月に夜間帯の火災や風水害、停電を想定した訓練を実施したほか、2月に日中の火災を想定した訓練を実施しています。備蓄品についてもホーム内に保管しています。策定が義務付けられた事業継続計画(BCP)も災害時と感染症拡大に備えた計画を策定しています。	作成を終えた事業継続計画(BCP)について、実際にBCPを発動させた訓練などを通して職員の理解や意識をより深めていけるとよいと思います。

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の尊厳を尊重し、プライドを傷つけないように努め、特に羞恥心に配慮したサービスが行えるよう取り組んでいます。また研修でも周知しております。	年間の研修計画に接遇マナー研修を取り入れて毎年計画的に実施しています。また毎月の拠点会議やユニット会議内において気になる言葉がけなどについて全体で確認して振り返る機会を設けて不適切な対応にならないように努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	やりたい事、出来る事、行きたい場所をお客様と一緒に考え、自己決定ができるようなかかわり方を考えています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースにあわせた 食事や入浴時間に変更したり しご本人の意向に合わせ支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髭剃りや衣類の自己決定や必要な助言、介助を行っています。訪問理容の利用		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様のリクエストをメニューに取り入れています。食事作り、後片付けなどお手伝いしてもらっています。	朝食と夕食については湯煎で温める食材を使用していますが、昼食は食材を調達して手作りの食事を提供しています。また毎週水曜日の昼食はイベント食として、利用者も準備に関わり、食の楽しみにつなげていけるように工夫しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れた食事を提供させていただいています。食事量、水分量のチェックや管理を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア実施 就寝前に義歯洗浄 訪問歯科の利用をおこなっています。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄状況の確認、排泄パターンの把握で適切なトイレ誘導を行えるよう取り組んでいます。	排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることができおり、排泄の失敗などを防ぐことができます。排泄状況はタブレット端末から専用の介護ソフトへ入力しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や運動などで積極的に体を動かしていただいています。水分補給についてはお客様の好みの飲みものを把握し1日の水分補給量が減少しないように努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴予定表はありますが、当日の体調や気分に合わせて随意時変更し お客様の意向に沿い入浴していただいております。	入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。入浴中はマンツーマンでの対応のため利用者とのコミュニケーションを深める時間につなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様のペースにあわせる事、運動やカラオケなどでのレクリエーションなどで活動機会を増やし快適な睡眠、休息を取っていただけるよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お客様のお薬明細は事務所に閲覧できるように保管されています。服薬マニュアルで誤薬防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で役割をもっていただいております。運動、カラオケ等で気分転換ができるよう取り組んでいます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	お天気の良い時には施設周辺の散歩に出かけたりお客様の要望に合わせBBQや焼き芋会等を行っています。また、お客様の買い物の希望があれば叶えられるよう支援しています。	ホーム近隣の公園への散歩を日課としており利用者が交代で戸外に出かけられるよう努めています。また今年度は地域のお祭りに利用者と一緒に参加をしたり、ホームの敷地内でバーベキューや花火芋煮会を行うなど、ホーム外での取り組みも充実させています。	



グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	貴重品は事務所金庫で保管、お小遣いも金庫にてお預かりしご本人の希望で使われています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば事務所内の電話をご利用いただいています。手紙も同様にお出ししています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は清潔に努め湿度にも気を付けています。フロアに季節感を感じて頂けるよう装飾をお客様と共に創作しています。	季節に合わせた装飾品を掲示するなど季節感が感じられるように各ユニットで工夫しています。日々の掃除の徹底や感染対策として手すりや床、リビングのテーブルなどもこまめに消毒するほか換気を徹底するなど基本的な対策を継続しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良いお客様同士で会話等が楽しめるよ座席の配置を考慮し、お一人での過ごし方はご自身でお部屋でテレビを鑑賞されたりし過ごされております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居の際に馴染みの物をご用意いただくよう説明させていただいています。お客様が居心地よく過ごせるよう配慮しています。	居室の掃除も定期的に行い清潔保持に努めるほか、居室内のレイアウトについても利用者、家族の意向を大切にしています。馴染み品の持ち込みを可能として居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内は手すり、バリアフリーで安全確保を行い残存機能を活かし自立した生活を送れるよう支援を行っています。		